

書類交付

下記の順路に沿って各自配付資料を受け取り座席に着席してください。

ステージ上の配布物

順路

- 1 学生証をICカードリーダーにかざしてください。
- 2 ステージ上の配布物を1部ずつ取り、着席してください。
- 3 着席の際は、座席番号がついている座席に着席してください。
- 4 着席後、アンケート説明資料を確認し、アンケートに必ず回答してください。(アンケートの回答をもって出席とします)

アンケート

新入生対象 アンケートのお願い

新入生の入学動機・大学生活で取り組みたいことの把握や今後実施予定のクラス担任との面談に際しての基礎情報として活用することを目的に新入生アンケートを実施いたします。

QRコードからアンケートサイトに移動し
内容に沿ってご回答ください。

- ※ 回答時間短縮のため、学籍番号を記録できる設定で調査を実施しています。
- ※ 回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

QRコードを利用できない方はURL を入力してください。

<https://forms.office.com/r/HCM5EH8jyW>



教務ガイダンス

生命科学部 生命科学科 1年次

※配布の「配布書類及び解説」に記載されているものが、
すべて手元にあるか確認してください。



大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

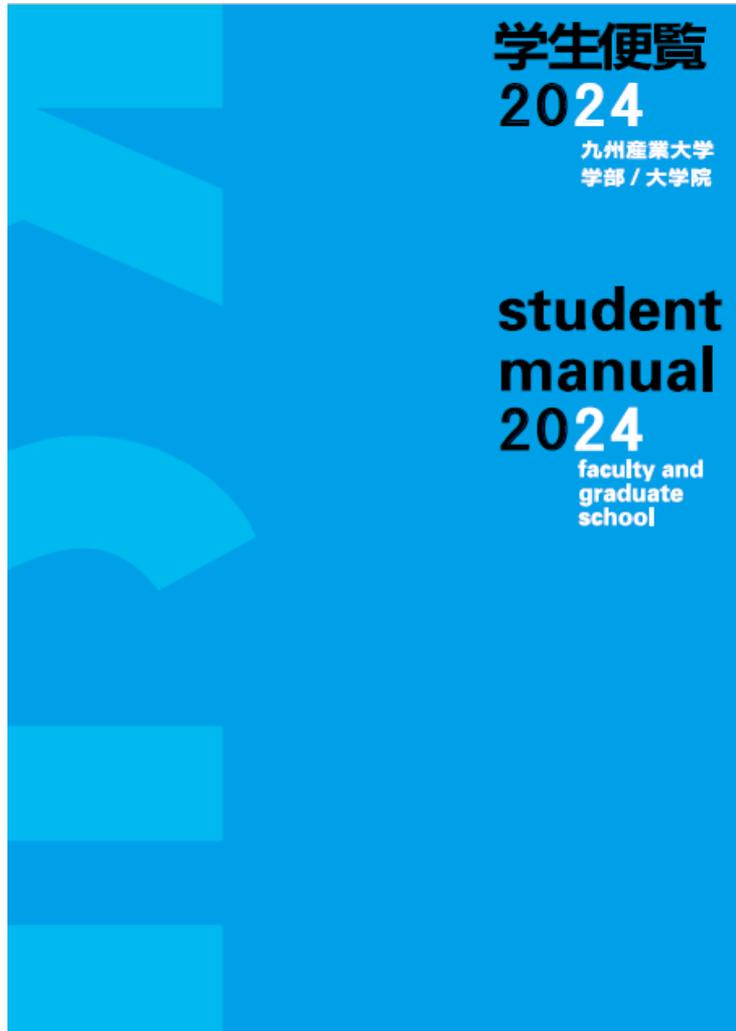
大学生活を過ごす上で

高校と大学の違い

	高校	大学
学期制	3学期制(原則)	2学期制(前学期・後学期)
授業時間	50分	100分
授業時間割 (履修)	指定されている (クラス共通)	自分自身で 選択 する
クラス制及び クラス担任	あり (1クラス10~20人程度)	あり (ゼミナール担当教員)
教室	指定されている (クラス共通)	選択した授業科目によって 異なる (授業科目ごとに指定)
卒業要件	学年制(原則)	単位制 (124単位以上) 各学部の卒業に必要な単位数を修得する

大学生は「自己選択→自己決定→自己責任」

学生便覧



在学中、すべてのルールは
学生便覧に基づいている

学年暦(P.1)

1年間のスケジュール

一般のカレンダーと**異なり**、
休暇期間・祝日授業日等
を掲載

学生便覧【建学の理想と理念について】

九州産業大学 1960年設立

創設者 中村治四郎(1907年～1974年)

〈建学の理想〉 学則 第1条
(学生便覧4P)

産学一如

産業と大学は車の両輪のように一体となって、
時々の社会のニーズを満たすべきである。

〈建学の理念〉 学則 第1条

市民的自覚と中道精神の振興
実践的な学風の確立

〈人材育成及び教育研究上の目的〉
学則 第1条の2 (学生便覧4P)

九州産業大学は、広く産業界の期待に応えられる
「実践力」「熱意」「豊かな人間性」を持った人材を輩出することを目的としています。



学生便覧【修業年限・在学年限】

学則 第3条～第4条 (学生便覧 P5)

〈修業年限〉

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

〈在学年限〉

第4条 学生は、8年を超えて在学することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、編入学又は再入学を許可された学生は、修業すべき年数の2倍を超えて在学することはできない。

学生便覧5ページにマーカーなどを
引いてわかるようにしておきましょう

学年暦【定期試験・追試験】

前学期授業：4月 8日（月）－ 7月19日（金）

後学期授業：9月16日（月）－ 12月24日（火）

[授業回数：半期14回・通年28回]

祝日授業実施日	4月29日（月）昭和の日 7月15日（月）海の日 9月16日（月）敬老の日 9月23日（月）振替休日（秋分の日） 10月14日（月）スポーツの日 ※授業日のため忘れずに登校すること！
補講日	土曜日または平日6限目に実施
チャレンジマンズ	夏季：7月28日（日）－ 9月15日（日） 春季：1月21日（火）－ 3月20日（木） ※長期休業期間中の学外での活動を推奨 (海外留学、ボランティア活動、インターンシップ参加など)

学年暦【定期試験・追試験】

定期試験

前学期 | 7月22日（月）－ 7月27日（土）まで

後学期 | 1月10日（金）－ 1月20日（月）まで

追試験

定期試験を**病気、その他やむを得ない事由**で受験できなかった学生に対して行う。

追試験を申し出ることができる事由は**学生便覧**を確認すること。

K'sLife(ケースライフ)



- ▶ [学生、教員、職員の方はこちら](#)
- ▶ [保護者の方はこちら](#)

個人の履修登録、成績、連絡通知について
閲覧可能なWEBサイト
※毎日確認すること

時間割（授業・定期試験）など教務に関する情報を掲載

トップページ

- 教務課からのお知らせ
- よくある質問
- 利用の手引き
- 学籍関係 etc...

学部別ページ

- 履修・授業・卒業に関すること
- 時間割
- 学部からのお知らせ etc...

AIチャットbot



チャットbotに質問

まずはクリック！

- **24時間365日対応可能**なAIを使ったシステムです。
- 分からないことがあれば、まずはチャットbotに質問してみましょう！
- 教務部HP、K's Lifeの画面から質問できます。

履修登録



自分で時間割を作成し、
K'sLifeで授業科目を
WEB登録すること

本年度の履修に関する手引書。
講義受講の注意事項を記載。
必ず一読し、履修登録すること。

シラバス

科目コード	DFG30001		
科目名	九州地域学		
担当教員	千 相哲 、 木村 俊大 、 古賀 初生 、 栗原 優 、 末松 剛 、 山下 永子 、 小池 高史 、 高山 和幸 、 田代 雅彦 、 基橋 誠 、 大万 愛子 、 宮岡 祐司 、 森下 俊一郎 、 豊后 茂		
対象学年	1年	クラス	[001]
講義章	N 3 0 2 教章	開講学期	後期
曜日・時限	火 4	単位数	2
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
実務家教員	<input type="checkbox"/>		
A 講義概要/Class Outline	<p>地域を取り巻く環境が大きく変化していく中で、地域住民が地域を見直し、誇りを持ち続けられる社会を実現し、地域社会が自律性・独自性を維持するためには、地域の文化的資源の再認識と価値付けが求められる。この授業では、専門領域の異なる教員が連携し、九州の地域社会、経済、産業、人々の暮らしを総合的に概観しながら、九州の地域課題の本質の基本認識、問題解決に必要な考え方、専門領域横断的分析方法や考察方法について学ぶ。【本授業は対面と遠隔を組み合わせて実施し、対面・遠隔の実施日程は初回の授業で指示します】</p>		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	九州の観光特性と観光ビッグバンについて学ぶ。	
	2	九州地域の地理的特性と主要産業の分布について、他の地域との関係について学ぶ。	
	3	九州地域における芸術文化を通じた地域活性化の取り組みについて学ぶ。	
	4	九州地域における農業について、その特徴を農産物ブランドから学ぶ。	
	5	九州地域における地方自治の現状と課題について学ぶ。	
	6	九州地域における様々な課題について、憲法、行政法、地方自治法について学ぶ。	
	7	公的統計を紐解きながら、九州地域の人口構成・移動、住まい、暮らしについて学ぶ。	
	8	九州主要地域の国際戦略・都市マーケティング戦略について学ぶ。	
	9	地域に根ざした歴史史料に着目し、先人の育んできた地域社会・暮らしについて学ぶ。	
	10	アニメ聖地巡礼による九州地域への誘客の可能性について、事例から学ぶ。	
	11	温泉王国九州の魅力とは何か。温泉地域の観光の動向とまちづくりについて学ぶ。	
	12	九州の温泉旅館のおもてなしマネジメントについて学ぶ。	
	13	九州の旅行業界のニュービジネスについて学ぶ。	
	14	九州はひとつの理念と九州観光のブランディングについて学ぶ。	
C 到達目標/Class Goal	九州の地域社会や地域課題について学ぶことにより、学部全体の教育を理解し、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。		
D 準備学習の内容(事前・事後学習)	<p>事前学習：教科書の該当部分を事前に読んで講義に臨むこと。(30時間程度)</p> <p>事後学習：教科書で講義内容を復習し、基礎知識や観光用語を確認すること。</p>		
E 評価基準Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規程「成績評価基準」に基づいて評価する。秀で、可(C) 60点から69点まで、不可59点以下		
F 評価方法/Grading Method	授業毎の小テストの結果を総合して評価する。		
G 受講上の注意/Class Rules	講義中は私語を慎むこと。また、講義章は準常指定を行う。		
H 受講前提/Prerequisite	本科目は地域共創学部の全員履修科目であるため、受講生数が教章のキャパをオーバーする場合は、地域共創学部の学生の履修を優先する。		
I 関連する科目Related Class	観光関連科目、地域づくり関連科目		

授業科目の内容・学修計画等を記載
K'sLifeで閲覧可能

※シラバスを確認の上で
履修登録すること

出席

入室登録	授業開始 10分前 から 授業開始 (チャイム) まで
退室登録	授業終了 15分前 から 授業終了 10分後 まで

出席の登録は、各教室に設置のICカードリーダーに
学生証をかざす必要がある。

※学生証をかざす**時間帯**には注意すること。

休講・補講

休講：授業担当者のやむを得ない理由で授業が行われないこと。

補講：休講した授業を補うために行う授業。
土曜日または平日の6限に実施。

※休講・補講の情報は**K'sLifeで通知**。

大学の学修

1 時間割を作成、WEB履修登録を行う

時間割確定後、教科書を購入

2 授業に出席

休講・補講に気を付けること

3 レポート提出等、定期試験

4 卒業に必要な単位を修得

5 卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照すること

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件
別表第10は、P.63に記載。
卒業までに **1 2 4 単位以上** 必要。
- ・ 第18条：単位の認定
授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われる。

成績評価は以下表示形式。

秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D/E)

単位修得

教育課程

基礎教育科目

広く様々な学問を学び
人間力を養う

外国語科目

外国語によるコミュニケーション能力を養う
(英語・初修外国語)
「聞く・話す・読む・書く」

専門科目

特定の分野について
専門的に学ぶ
(学部・学科で異なる)

卒業（124単位以上）

卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

生命科学部 履修規程第5条：卒業要件

授業科目区分		授業科目及び単位数
		生命科学科
専門科目	必修科目	54単位
	選択必修科目	2単位以上
	選択科目	38単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位
	学修基礎科目	22単位以上
	キャリア科目	
	文理芸融合科目	
	教養科目	
外国語科目	英語6単位以上	
合計		124単位以上

卒業要件【必修・選択必修・選択科目について】

生命科学部 生命科学科（応用化学コース） *印は必修科目 △印は選択必修科目

区分	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専 門 科 目	化学系	*生命科学導入実験		*無機化学Ⅰ	2	*応用化学実験Ⅰ	2	*卒業研究	6
				*無機化学Ⅱ	2	△応用化学実験Ⅱ	2	*卒研ゼミナールⅠ	2
				*有機化学Ⅰ	2	無機化学Ⅲ	2	*卒研ゼミナールⅡ	2
				*有機化学Ⅱ	2	有機化学Ⅲ	2		
				*物理化学Ⅰ	2	物理化学Ⅲ	2		
		*物理化学Ⅱ	2	高分子化学Ⅱ	2				
		*分析化学Ⅰ	2	化学と安全	2				
		*分析化学Ⅱ	2	機器分析	2				
		*化学基礎実験 (コンピュータ活用を含む)	2	無機機能材料	2				
		高分子化学Ⅰ	2	有機機能材料	2				
				複合材料	2				
				医療材料	2				
				高分子材料	2				
				木質環境化学	2				
専 門 科 目	生命・食品系			*生化学Ⅰ	2	*薬学Ⅰ	2		
				生化学Ⅱ	2	薬学Ⅱ	2		
				分子生物学Ⅰ	2	化粧品基礎科学	2		
				分子生物学Ⅱ	2	化粧品製剤学	2		
				医用工学	2	生体工学	2		
		微生物学	2	化粧品機能学	2				
		食品衛生学	2	△生命科学応用実験	2				
				△食品科学実験	2				
専 門 科 目	学 科 夫 通	*基礎生物学	2	化学数学	2	科学英語	2		
		*生物学	2	地球科学実験 (コンピュータ活用を含む)	2				
		*環境科学	2						
		地球科学Ⅰ	2						
		地球科学Ⅱ	2						
*基礎化学Ⅰ	2								
*基礎化学Ⅱ	2								
*情報科学Ⅰ	2								
*情報科学Ⅱ	2								
専 門 科 目	キ ャ リ ア 設 計					*ブレ卒研ゼミナール	2		
						キャリア演習(実践)	2		
専 門 科 目	理 工 学 基 礎	*基礎数学	2	物理学Ⅱ	2	プログラミング入門	2		
		基礎物理	2	物理実験 (コンピュータ活用を含む)	2				
		物理学Ⅰ	2	微積分学	2				

〈専門科目〉 年次別授業科目配当表

4年間で履修できる専門科目が
全て記載されている。

1年生は「第1年次」の
配当科目が履修可能

《卒業するまでに必要な単位数

必修科目：54単位
選択必修科目：2単位以上
選択科目：38単位以上

卒業要件【外国語科目・基礎教育科目について】

年次別授業科目配当表

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
基礎教育科目	科目	大学スタディスキル (2)			
	学修基礎	実用国語(文章力) (2)	実用国語(伝達力) (2)		
		実用数学(計算力) (2)	実用数学(活用力) (2)		
		くらしの中の数学 (2)			
		AI導入 プログラミング導入 (2)			
	キャリア	キャリア形成基礎 (2)	キャリア開発 (2)	キャリア形成戦略 (2)	
		主催者リテラシー (2)			
		消費者リテラシー (2)			
		九歳大力 (2)			
	文芸芸術総合科目	実践クロス講義 (2)		インタラクティブディスカッション (2)	
実践クロス演習 (2)					
科目	人文科学科目	日本の歴史 (2)			
	世界の歴史 (2)				
	哲学の世界 (2)				
	文学の世界 (2)				
	心理学の世界 (2)				
	文化人類学 (2)				
	美学・美術史 (2)				
	芸術の世界 (2)				
	人文科学の世界 (2)				
	社会科学科目	法学 (2)			
日本国憲法 (2)					
現代の政治 (2)					
地球の世界 (2)					
人類・国際関係 (2)					
ジェンダーと社会 (2)					
社会科学の世界 (2)					
自然科学科目	科学の世界 (2)				
地球環境 (2)					
生物の世界 (2)					
自然科学の世界 (2)					
健康科学科目	スポーツ科学演習 (2)				
心と身体の健康 (2)					

〈基礎教育科目・外国語科目〉

年次別授業科目配当表

4年間で履修できる基礎教育科目

と外国語科目が

全て記載されている。

《卒業するまでに必要な単位数》
24単位以上（導入科目2
単位を含む）

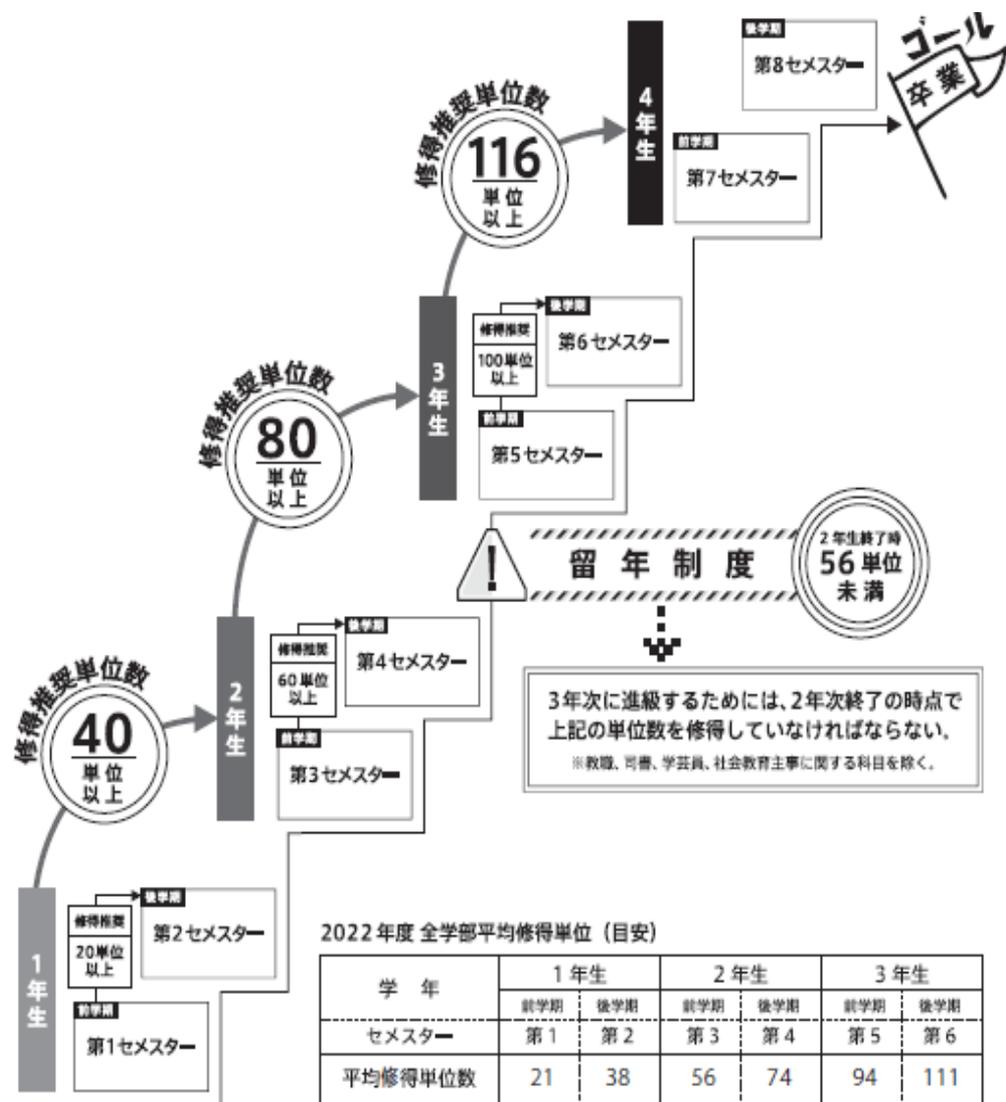
《卒業するまでに必要な単位数》
英語6単位以上

科目		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
外国語科目	科目	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1) English Plus (1) English Expressions (2)	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1) Listening & Speaking IV (1)		
	科目	Four Skills I (2) Four Skills II (2) Labo Training I (1) Labo Training II (1) Domestic Job Training (4) Overseas Job Training (4)	TOEIC Plus (2) Reading Focus (2) Writing Focus (2) Business English (2) Kanjishu Pronunciation (2) Introduction to Translation (2) Global Perspectives (2)		
初修外国語科目	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)	
	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)	
	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)	
	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)	
	ロシア語 I (1) ロシア語 II (1) ロシア語 III (1) ロシア語 IV (1)	ロシア語 I (1) ロシア語 II (1) ロシア語 III (1) ロシア語 IV (1)	ロシア語 I (1) ロシア語 II (1) ロシア語 III (1) ロシア語 IV (1)	ロシア語 I (1) ロシア語 II (1) ロシア語 III (1) ロシア語 IV (1)	
	イタリア語 I (1) イタリア語 II (1) イタリア語 III (1) イタリア語 IV (1)	イタリア語 I (1) イタリア語 II (1) イタリア語 III (1) イタリア語 IV (1)	イタリア語 I (1) イタリア語 II (1) イタリア語 III (1) イタリア語 IV (1)	イタリア語 I (1) イタリア語 II (1) イタリア語 III (1) イタリア語 IV (1)	
	スペイン語 I (1) スペイン語 II (1) スペイン語 III (1) スペイン語 IV (1)	スペイン語 I (1) スペイン語 II (1) スペイン語 III (1) スペイン語 IV (1)	スペイン語 I (1) スペイン語 II (1) スペイン語 III (1) スペイン語 IV (1)	スペイン語 I (1) スペイン語 II (1) スペイン語 III (1) スペイン語 IV (1)	
	ポルトガル語 I (1) ポルトガル語 II (1) ポルトガル語 III (1) ポルトガル語 IV (1)	ポルトガル語 I (1) ポルトガル語 II (1) ポルトガル語 III (1) ポルトガル語 IV (1)	ポルトガル語 I (1) ポルトガル語 II (1) ポルトガル語 III (1) ポルトガル語 IV (1)	ポルトガル語 I (1) ポルトガル語 II (1) ポルトガル語 III (1) ポルトガル語 IV (1)	
	インドネシア語 I (1) インドネシア語 II (1) インドネシア語 III (1) インドネシア語 IV (1)	インドネシア語 I (1) インドネシア語 II (1) インドネシア語 III (1) インドネシア語 IV (1)	インドネシア語 I (1) インドネシア語 II (1) インドネシア語 III (1) インドネシア語 IV (1)	インドネシア語 I (1) インドネシア語 II (1) インドネシア語 III (1) インドネシア語 IV (1)	
	タイ語 I (1) タイ語 II (1) タイ語 III (1) タイ語 IV (1)	タイ語 I (1) タイ語 II (1) タイ語 III (1) タイ語 IV (1)	タイ語 I (1) タイ語 II (1) タイ語 III (1) タイ語 IV (1)	タイ語 I (1) タイ語 II (1) タイ語 III (1) タイ語 IV (1)	

※「クロス科目」は、各学部の学生が文芸(クロス)して取り組む授業科目を指す。
※「コラボ科目」は、各学部の教員が協働(コラボレーション)して実施する授業科目を指す。

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
		授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)
関連科目	科目	アカデミック日本語(読・書)A (1) アカデミック日本語(読・書)B (1) アカデミック日本語(読・書)C (1) アカデミック日本語(読・書)D (1)	アカデミック日本語(読・書)A (1) アカデミック日本語(読・書)B (1) アカデミック日本語(読・書)C (1) アカデミック日本語(読・書)D (1)	アカデミック日本語(読・書)A (1) アカデミック日本語(読・書)B (1) アカデミック日本語(読・書)C (1) アカデミック日本語(読・書)D (1)	アカデミック日本語(読・書)A (1) アカデミック日本語(読・書)B (1) アカデミック日本語(読・書)C (1) アカデミック日本語(読・書)D (1)
	科目	日本の歴史 I (2) 日本の歴史 II (2)	日本の文化 I (2) 日本の文化 II (2)		
	科目	日本の政治経済 I (2) 日本の政治経済 II (2)	一般日本概論 I (2) 一般日本概論 II (2)		

卒業要件【修得推奨単位について】



左表を参考に、卒業までの**計画的**な単位修得を心掛けてください。

1年間を2学期制で実施することを「セメスター制」という。
1年間に2セメスター実施。
※詳細は「履修ガイドをご確認ください。」

卒業要件【履修制限について】

1年間で履修できる上限単位数

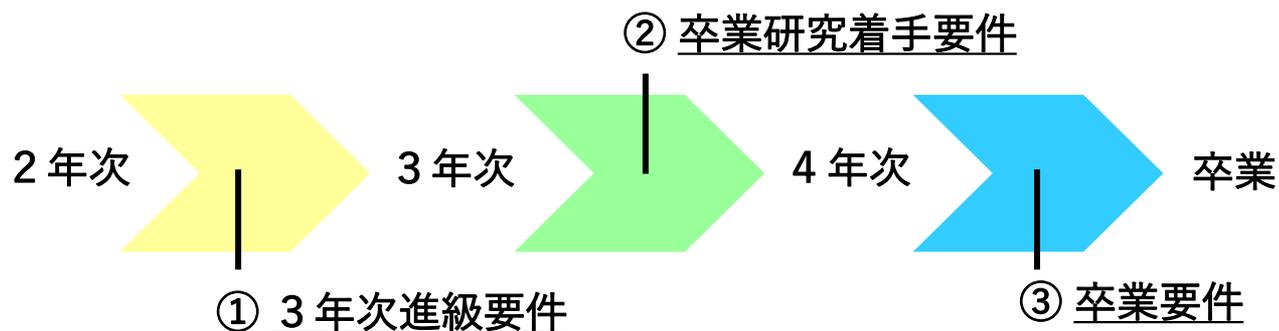
44単位

半期で履修できる上限単位数

28単位

※1年次後学期以降の基礎数学・基礎物理の再履修クラス、
集中講義科目は履修上限には含まれません。

各年次ごとの要件

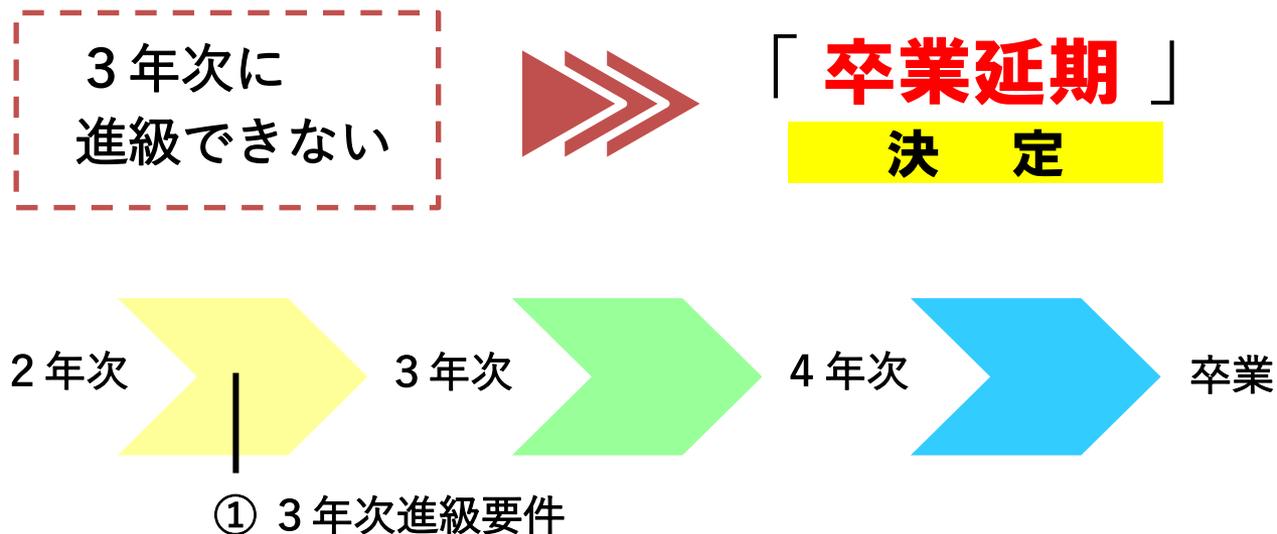


各要件をしっかりと理解し、計画的に履修登録を行いましょう。

卒業要件【履修制限について】

① 3年次進級要件

1年次及び2年次に配当されている授業科目（基礎数学、基礎化学Ⅰ及び基礎生物学を含む）を56単位以上修得していなければ2年次のままとし、3年次に進級することができない。

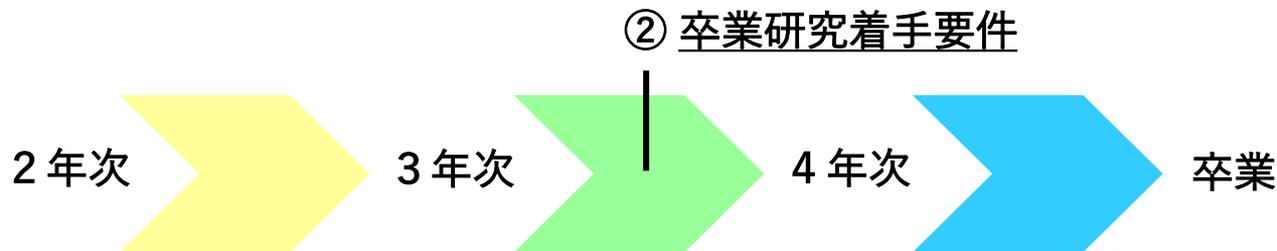
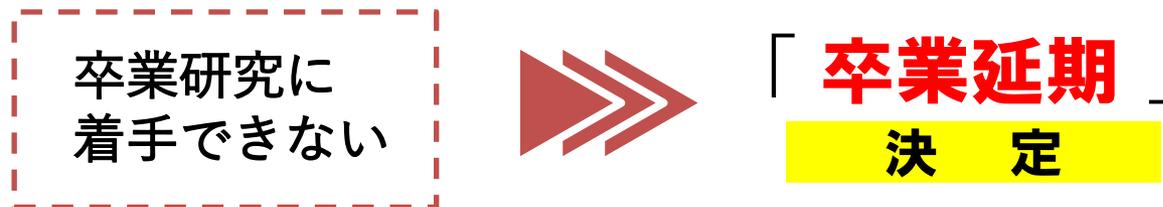


卒業要件【履修制限について】

② 卒業研究着手要件

- 第3年次までに配当されている必修科目のうち、実験及び実習科目の単位を全て修得していること。
- 卒業に必要な124単位のうち、必修科目34単位以上を含む94単位以上を修得していること。

4年次配当科目「卒業研究」は必修科目

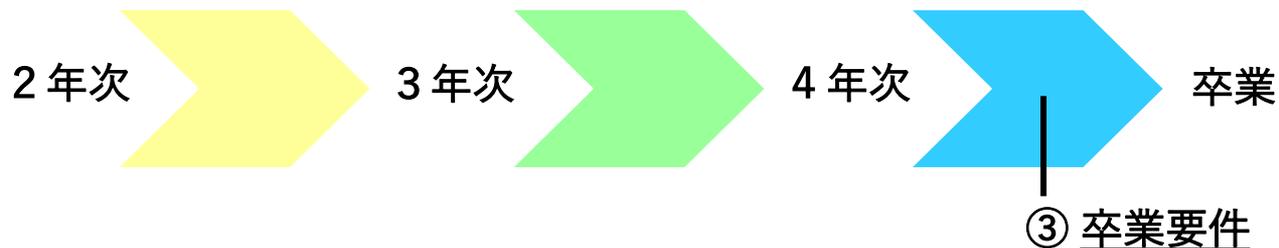


卒業要件【履修制限について】

③ 卒業要件

卒業するまでに必要な単位は、**124**単位
ただし、下記の卒業要件を満たさなければならない。

授業科目区分		授業科目及び単位数
		生命科学科
専門科目	必修科目	54単位
	選択必修科目	2単位以上
	選択科目	38単位以上
基礎教育科目	導入科目	2単位
	学修基礎科目	22単位以上
	キャリア科目	
	文理芸融合科目	
教養科目		
外国語科目		英語6単位以上
合計		124単位以上



履修が不安な学生は成績原簿を印刷し、教務課へ

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

授業時間割

本日配布している授業時間割表は3種類

- ① 「生命科学部生命科学科 授業時間割表」
 - ② 「KSU基盤教育科目・教職・留学生（日本事情）科目」
 - ③ 「KSU基盤教育科目（外国語科目・留学生の日本語）」
- ※ ②と③は全学共通

授業時間割【見方について】

授業時間割には、
期別（前・後学期・通年）・講義科目・担当者・講義室が記載

◎時間割表の見方

「●年次」：履修可能年度を確認してください。
「再履修」：再履修のみのクラス、「補習」：補習授業

【例】

A	・・・クラス(再履修等)
基礎化学 I	・・・ 科目名
河野	・・・担当者
12105	・・・教室
必修科目	・・・ <u>科目区分</u>

「生命科学部生命科学科授業時間割表」の下段に時間割の見方を記載しているので確認してください。
分からない点は、教務課へ質問してください。



授業時間割【見方について】

教室の見方

N101……1号館1階北側101教室

2E301…2号館3階東側 301教室

8315……8号館3階 8315教室

12107……12号館1階 12107教室

42番……中央会館4階42番教室

パソコン教室1…中央会館4階 パソコン教室

パソコン演習室2…中央会館3階 パソコン演習室

授業時間割を変更する場合

- ①授業追加
 - ②受講者数等の理由で教室変更
 - ③担当者変更等
- ※教務部HPに掲載



履修ガイド+K`sLife利用ガイドにも
記載されています。

授業時間割【事前に登録された科目について】

＜事前に履修登録されている専門・基礎教育科目＞

《前学期》

- *基礎数学
- *基礎生物学
- *基礎化学Ⅰ
- *情報科学Ⅰ
- 大学スタディスキル

《後学期》

- *基礎化学Ⅱ
- *情報科学Ⅱ
- *生命科学導入実験

4/6（土）に登録されるため、**K'sLifeを確認**すること。

授業時間割【英語クラスについて】

事前に履修登録されている外国語科目

- 「Reading & Writing I・II」
 - 「Listening & Speaking I・II」
- 英語プレイスメントテスト結果によりクラス分け。

4/6(土)に登録されるため、**K' sLifeを確認**すること。

基礎教育科目の国語科目と数学科目について(1年次生)

4月2日(火)に実施した国語・数学プレイスメントテストの結果により、以下の科目が**履修登録されている場合**があります。
この場合は**必ず履修**し、単位を修得してください。

【国語科目】

- ・ 低得点層：「実用国語（文章力）」または「人文科学の世界」
- ・ 高得点層：「実践クロス講座（応用国語）」

※「実践クロス講座（応用国語）」は、夏休み集中講義で実施するため、年間履修上限単位数には含まない。

【数学科目】 ※文系学部のみ

- ・ 低得点層：「実用数学（計算力）」または
「実用数学（計算力）」 + 「リメディアル数学」

※「リメディアル数学」は補習授業のため、単位は認定されない。

基礎教育科目の【文理芸融合科目】について(1年次生)

基礎教育科目の中には【**文理芸融合科目**】という区分があります。
『**実践クロス講座**』や『**実践コラボ演習**』、『**教養講座**』などです。

内容は、**SDGs**や**ダイバーシティ**、**AI**や**警察**、さらには**囲碁**まで、
様々なジャンルを揃えています。

上記の内容も含め、基礎教育科目では幅広い教養を学べるように
設定されていますので、ぜひ興味のある科目を探してみてください。

AI・データサイエンス副専攻について

AI・データサイエンス副専攻について -学部横断型の学び-

- 1 社会において必要とされる、AI・データサイエンスに関する**基礎的な教養**を修得する。
- 2 本学に設置する分野から、横断的にAI・データサイエンスに関する様々な**知識・経験**を得る。
- 3 体系的な学修を通して、AI・データサイエンスの考え方を**理解・活用**することができる。

今後のためにぜひ受講してください。

※興味がある学生は学生便覧を確認してください。

卒業要件【成績原簿の見方について】

専門必修 科目 (54)	専門選択 必修科目 (2)	専門選択 科目 (38)	小計 (94)	導入科目	学修・キ ャ・文理	計	小計 (24)	英語 (6)	外国語科 目	小計 (6)	合計 (124)	教職
18	0	6	24	2	16	18	18	4	0	4	46	4

成績原簿の（）内の数字は卒業するまでに必要な単位数です。

※1年次から2年次に上がる際に、生命科学部ではコース分けが行われます。

コース分けは、GPA順で希望を取りますので、授業にしっかり取り組み単位を修得しましょう。

注意点

- ① 他コース履修した科目は、12単位以内に限り「専門選択科目」に振り替えることができます。また、他学部履修した科目は、4単位以内に限り「基礎教育科目」に振り替えることができます。（P155）
- ②（）内の数より多く修得した科目は卒業単位に含まれないため、注意が必要です。（※専門選択必修科目のみ例外です。）

履修登録

履修登録期間

4月6日(土) 10:00

- 4月8日(月) 23:55 まで

※ 前学期・後学期及び通年科目すべてこの期間に登録すること。

履修登録変更期間

前学期 4月 9日(火) 10:00 - 4月12日(金) 23:55まで

後学期 9月 9日(月) 10:00 - 9月20日(金) 23:55まで

※ 他学部・他学科科目の履修はこの期間に申請すること。

他学部・他学科科目の履修希望者はまず教務部窓口へ。



- 授業内容・教室の規模に応じて履修登録を制限している科目もある。
- 履修登録期間終了後は科目の追加登録はできません。

学籍情報の更新

1

menu > マイinfo > 学生情報をクリック



2

学籍詳細情報の「編集」をクリック



学生情報編集

学生情報を入力して、「登録」ボタンを押してください。
必須入力項目には、項目名の右側に必須マークが表示されています。
学籍詳細情報の郵便番号、住所、電話番号項目で、登録内容に変更のある場合は、画面右下の「変更届」を印刷し、
必要事項を記入して [数務課へ必ず提出](#)してください。
携帯E-mailアドレスを変更登録した場合、登録したアドレスあてに「登録メールアドレス確認」という件名のメールが届きます。

A screenshot of the '学生情報編集' (Student Information Edit) form. The user's name and year are shown at the top. The '学籍基本情報' (Basic Student Information) section contains a table with the following data:

学籍番号	[Redacted]
在籍状況	在学中
学生氏名	学生 一郎
性別	男
在学形態	一般学生
学生区分	一般学生

At the bottom right, there are two buttons: '変更届印刷' (Print Change Form) and '登録' (Register), with the '登録' button highlighted in red.

3

変更が生じた情報を更新し、「登録」をクリック

注意点

- ①氏名等WEB上で更新できない項目に変更が生じた場合は教務課窓口に 変更届を提出してください。
[教務課WEB>学籍に関するページ>本人・保証人の住所等変更について](#)
- ②必ず [最新の電話番号・アドレス](#)に変更してください。

スケジュール

大学とは

卒業するためには

履修登録の仕方（時間割作成）

大学生活を過ごす上で

教職資格等

教職・学芸員・社会教育主事・司書等
資格取得が可能

《教職課程》

1年次後学期から履修開始

7月頃教職ガイダンス実施(1年次生対象)

《司書・学芸員・社会教育主事》

1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)

希望者は以下時間帯に**必ず出席**すること。

4月5日(金) 17:30～ S201教室

教科書購入Webサイト

Webサイト公開期間

4月3日(水) - 5月31日(金)

教科書受渡

受渡場所

3号館 8階 教科書受渡所

受渡期間

4月5日(金) - 4月26日(金)

※この日以降は1号館横 丸善売店で受け渡し



- 履修する科目のシラバスを確認すること
- 購入後の返品ができない場合があるため、履修登録が終了した後購入すること。

本日以降スケジュール

4月5日（金）

13：30～14：30 学生課ガイダンス

1号館2階 S207教室

15：00～16：00 Web履修ガイダンス

中央会館4階 パソコン教室1
パソコン教室2

4月6日（土）

10：00～

履修登録開始

4月8日（月）

授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認



資格取得講座等のWEBページ→ [Skill Up for MIRAI](#) 詳しくは大学HPからチェック！！

A banner image for 'Skill Up for MIRAI'. On the left, a woman is seen from behind, looking at books on a shelf. The text 'Skill Up for MIRAI' is written in a large, white, serif font. Below it, the Japanese text 'あなたの未来に役立つ資格' is written in a smaller, white, sans-serif font. On the right, a woman is sitting in a chair, smiling, with her hand to her chin. The text 'ON CAMPUS MERIT' and '学内受講のメリット' is overlaid on this image. A red vertical bar on the left contains the text 'KSU' and 'MENU' with three dots.

KSU

Skill Up for
MIRAI

あなたの未来に役立つ資格

ON CAMPUS
MERIT

学内受講のメリット

MENU

《受講メリット》

- ①国家・公的・民間の幅広い資格に対応
- ②九産大生用の特別価格 & カリキュラム
- ③学内受講による時間の有効活用
- ④充実したサポート

資格を取得することで
最大5万円をキャッシュバックする
《キャリア・アップ支援奨励金制度》
対象資格講座も多数開講！

※資格種別により支給額が異なります



九州産業大学キャリア支援センター LINE公式アカウント



※必ず登録してください！！

就職支援行事の案内に加えて、
K'sLifeで流していない、細かな支援サービスやイベントのご案内等を配信しています！

ポイント

- ① 情報を逃さずゲット！
- ② 各種サービスに簡単アクセス！
- ③ 面接練習の予約ができる！
- ④ 通知OFFでもOK！



教務課からのお願い

1. 電話に出てください

「092-673-****」は大学からの大事な連絡です。
必ず電話に出るか、折り返しの連絡をしてください。

2. 学籍情報を更新してください

メールアドレス・電話番号が変わったら必ず更新してください。
住所変更等、K's Lifeで更新できない項目が変わったら、必ず教務課に届出をしてください。

3. わからないことは何でも相談してください

分からないことがあったら、まずは自分で調べてみてください。
調べても分からなければ、すぐ聞く、連絡する、相談するなどしてください。